



体調管理 + 主体的な学び = 成長の基盤

6月になったばかりですが、夏を感じさせる日差しが毎日のように降り注いでいます。日差しの中にも立っただけでも体力を奪われる。そう感じたことのある先生方もたくさんいることでしょう。しかもこれから聞こえてくるのは「梅雨入り」の声。梅雨のジメジメとした湿気もまた、体力を奪っていきます。そんな時期を過ごすにあたり、先生方におかれましては、体調管理に十分気をつけてください。家庭の一員として、各学校の一員として、そして下野市に携わる一員として、みなさんの代わりになれる人は、誰もいないのですから。

また、今月から各種訪問や研修会など「学ぶ場」が増えてきます。主体的に学ぶ子どもたちを育てるためには、まず教師が主体的に学ばなくてはならないのではないのでしょうか。ぜひそれぞれの「学ぶ場」を有効に利用していきましょう。

各種研修を共有して視野を広げましょう!!

○市学習指導主任研修会(講師:宇都宮大学教授 松本敏先生)

**なぜ、
授業研究が
有効なのか?**



「観察と自己省察の繰り返しにより、
教師は初めて教師となる。」
授業を見る眼力、子どもの頭と心の動きを
洞察する力は、繰り返して身につく。
互いの授業を繰り返し見せ合うことで、見
え方感じ方が変わる。それが、自分の引出
の多さになる。

「同僚性が高まる。」
高まると…互いの関わりの①範囲が広く②
場所を選ばず③より頻度が多くなる。また、
④議論の焦点が具体的な話題になる。そし
て、⑤それぞれの諸行為に関連性が生まれ、
⑥互いを尊重し合い、⑦他者の意志を
尊重するようになる。

学校課題研究で最も大切なのは、課題ではなく、同僚性を生かして追究しようとする雰囲気である!

○児童・生徒指導推進中央研修会(講師:大阪大学大学院教授 小野田正利先生)

いじめ防止対策推進法と学校～学校としてもっとも大切にしなければならないこと～

「記録を取る」ポイントはその取り方
・事実と私見を分けてとる。事実は、客観
的であり、無味乾燥的に。
・複数でとる。客観性をさらに増すために。
・時系列で、主語を抜かずに、聞いた言葉
をそのまま書く。

「事件・事故が発生した…」ポイントは、
すぐに集合しての事実確認をしない。
・各個人で記録に起こす。それからつない
でいく。なぜ?他の人の影響を受けず、
正しい情報を収集するため。
・創れば捏造!隠せば隠ぺい!

「現代は教育改革病!」メンタルケアを!
・家族に、同僚に、職の違う友人に。グチを
こぼす場を作ろう。それによって気づくこと
もある。
例えば…職員室の隅に、1つのテー
ブルを!そしてそこを憩いの場に。

教師の大切な資質は“ハツラツさ” 7～8割の力で頑張りましょう!

【6月の予定】



※ 6月1日現在の予定です。詳細は文書でご確認下さい。

※ 時間のみ記載の研修会の場所は、石橋庁舎です。

※ 市教育研究所主催行事 市関係行事 学校関係行事 その他

日	月	火	水	木	金	土	
	1 市教科書選定委員会 15:00～	2 下地区初任者研修 乙女小・桑中 宇大附属小公開研究 発表会①	3	4 市保健体育主任 研修会 14:00～ 宇大附属小公開研究 発表会②	5 宇大附属小公開研究 発表会③ 中学校春季県大会	6 中学校春季 県大会	
7 中学校春季 県大会	8 下地区小・中教頭研修会 13:30～ グリムの館	9 市幼保小連絡協議会 総会 15:00～ 下地区特別支援教育 研修会 13:30～ 野木町	10	11 市学力向上研究(学習 意欲・国語・算数・数学) 部会 15:00～	12	13 体育祭 (南河内中) (南河内二中)	
14	15 県民の日 共同訪問(緑小)	16 市児童・生徒指導 研修会 14:00～ 市教頭会研修会 石橋公民館 14:00～ 下地区小中学校長連絡 協議会 教育講演会 14:00～ グリムの館	17 S&U コラボ(吉田西小)	18 下地区教頭会研修会 14:00～ 道の駅しもつけ	19	20	
21	22 要請訪問(吉田東小) S&U コラボ(国分寺東小)	23	24 市小中学校長定例会議③ 9:00～ S&U コラボ(石橋小)	25 子ども未来プロジェクト第1 回生徒会交流会 14:00～ 市アレルギー研修 緑小 15:00～ 下地区中教研 A 部会 S&U コラボ(石北小)	26 要請訪問(祇園小) 市栄養教諭、学校 栄養職員研修会 14:00～ 宇大附属中公開研究 発表会	27	
28	29 教育委員訪問(石橋小)	30 市要保護児童対策 地域協議会 13:30～ S&U コラボ(石橋中)					

～お知らせ～ *詳細は後日掲載します。
 ① 第1回市幼保小研修会(小学校授業公開)
 7月9日(木) 細谷小 午後
 ② 市人権教育研修会
 11月5日(木) 南河内中 午後

スキルアップ：ワンポイント講座

情報モラル～コミュニティサイトの危険～

<参考> [コミュニティサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査結果\(平成26年上半年\)](#) - 警察庁より

最近では、SNS やゲームの交流サイトといった「コミュニティサイト」で、未成年の犯罪被害が頻発しています。

警察庁が平成26年11月に発表した「コミュニティサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査結果(平成26年上半年)」によれば、コミュニティサイトに起因して犯罪被害にあった児童数は、平成26年上半年は698人。前年度上半期と比べて100人増加しています。以下に分析結果をいくつか選んでみました。

- (1)被疑者の犯行動機…①児童との性交目的(66.5%) ②児童のわいせつ画像収集目的(15.3%)③児童と遊ぶため(11.9%)
- (2)犯行に及ぶまでの日数…①当日または翌日(20.4%) ②2日～1週間(17.8%) ③1週間～2週間(13.3%)
- (3)被疑者プロフィール詐称…①詐称あり(32.2%) ②詐称なし(67.8%)
- (4)被害者のアクセス手段…①携帯電話(89.8%) <スマートフォン 86.6%, その他 13.4%> ②パソコン(4.3%)

(1)からは被疑者は最初から子どもを狙ってサイトに登録していることがわかり、(2)と(3)からは子どもをだますことがいかに簡単かわかります。実際、同年代を装って誘いをかけるようです。また、(4)から携帯電話、なかでもスマートフォンでのアクセスがほとんどであることがわかります。好奇心の強い年頃のお子さんにとって、知らない人との交流は刺激的なのかもしれません。また、顔が見えない相手だからこそ安心して、悩みを打ち明けたり、心を許したりしてしまうのかもしれません。そうしているうちに、弱みを握られてしまうこともあるようです。

以下に、コミュニティサイトに潜む危険をあげてみます。

- ・ SNS やゲームの交流サイトの利用者の中には、子どもを狙って登録する人もいます
- ・ 自己紹介や日記を公開すると、世界中の人が閲覧できます
- ・ 学校名、住所、個人名など個人情報を記述すると、トラブルにつながることもあります
- ・ 友だち検索機能やメール交換機能、伝言板機能などは、大人が悪用することがあります
- ・ コミュニティサイトで知り合った人のプロフィールは、真実ではないことがあります
- ・ コミュニティサイトで知り合った人と直接会うと、トラブルにつながる可能性があります
- ・ コミュニティサイトで知り合った人に写真を送ると、悪用されるケースがあります



インターネット上では、「もしこれをしたらどうなるか?」を考えることが非常に重要です。いま自分がおかれている状況が安全か危険か、その判断は、インターネットの世界では大人でも困難です。人生経験がまだ少ない子どもには、なおのこと丁寧なフォローが必要です。